

Zone A テーマ：子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ

Zone Aでは「子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ」をテーマとして掲げ、子どもの学びのプロセスを大切にしながら、子どもたちの遊びや生活、学習、そして大人たちが学び合っていく活動を展開していくことについて考えてきました。「主体的・対話的で深い学び」と同時に「チーム学校」「こどもまんなか社会」「co-agency」といったことが提起されてきたように、今、子どもたちが主体的に学びを深めていくために、一層、学校や園、地域で支えていくことが求められています。

前回のシンポジウムでは、保育の実践において、「給食」に関わる子どもたちとおしゃべりが「こども給食研究会」へ発展し、「食」をめぐる探究を、多様な他者との対話を通して深めていくプロセスが報告されました。また、中学校理科の実践において、校庭の動植物を調べる活動の中での「食いたい」という生徒の思いから、野菜を栽培して食べるという活動を展開しながら、理科としての見方・考え方を育てていくプロセスが報告されました。2つの報告から、子どもの言動を丁寧に見取り、対象と関わる中で発せられた発想や行為を活かし、活動を共に生み出していく保育者・教師の姿勢を感じました。シンポジウムにおいては、こうした実践が一人ではなしえず、園として、校内の理科部会として、学校として支えられてこそ実現できるのではないかと思います。

今回のセッションでは、2つの話題提供を基に語り合います。長野県の学校からは、小・中が一つとなる義務教育学校化の動きの中で、子どもたちや先生方、地域の方々が協働し、コミュニティを培いながら、新しい学校づくりに向かってきたプロセスが報告されます。また、福井県の学校からは、保健体育科として、技能の習得や運動量の確保だけでなく、多様な子どもたちが、主体的に教科の見方・考え方を働かせることのできる授業を目指し、同僚と協働し、教師の学び合うコミュニティを培ってきたプロセスが報告されます。

子どもの主体的な学びを支えるコミュニティについて、参加者の皆様と一緒に探っていききたいと思います。

☆ハイブリッド開催

Connection	14：25-14：40	オンライン接続
Orientation	14：40-15：00	オリエンテーションと自己紹介

【Session I】

テーマ 「子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ」

<話題提供>

15：00-15：20	長野県栄村立栄中学校	教頭 田中新一
15：20-15：40	福井大学教育学部附属義務教育学校	教諭 赤尾昌倫
	コーディネーター：福井大学教職大学院	岸野麻衣

<全体討議> 15：40-16：10

私たちは、「主体的な学び」を子どもとの相互作用を通してどのように組織していくことができるのか、話題提供をふまえて皆様と共に探っていきます。

<休憩> 16：10-16：20

【Session II】 16：20-17：40 Cross-session

Session Iの議論に基づき、参加者それぞれの学校づくりの長い実践を共有し、新たな出会いと協働を編み込んでいきます。校種等をクロスした小グループ形式での対話を編み込み、実践をデザインし、展望を生み出します。